信頼性

力トウ・サイン工業創業100年



松、ヤマの2人が191社長 私の祖父母・岩 うだ。

た。元々、岩松は仏壇の4年4月に会社を興し 彫刻師で木彫り職人。手 酒蔵から看板の文字を彫

加藤紘一社長を中央に、右は加 藤貴之専務、左は加藤雅之取締 役営業部長(本社会議室にて) 事も請け負うようになっ は、市内の約3分の2を 占めた。 元の電気屋に取付けを依東京で曲げてもらい、地東京で曲げてもらい、地 頼するといったネオンエ 受注した。さらに昭和初 等)や、県内外の酒造メ から様々な看板を

間賃ばかりの収入しかな く、生活は苦しかったよ そんなある日、地元の かけとなり、看板関連のる注文を頂いたのがきっ 家に文字を書いてもら事業を始めた。仕事は書

事(JV)などを受注している。創業時来から、そして現在の業務内容、今後の経営方針などに 備導入、社員の資格取得に注力してきた。近年では新潟スタジアム(ビッグスワン)のサインエ

同社は「信頼性の高い製作・施工」をモットーに、3DCADマシンや大型プリンターなどの設 行輝氏、叔父・高弘氏が社長となり、業容を広げるなか、95年7月、紘一氏が4代目に就任した。

街と人を結び続けて1世紀-

ついて紘一社長、貴之専務、雅之取締役営業部長に話しを聞いた。

広告宣伝(看板、のぼりその後、ビール会社の 作、酒蔵に納めた。ヤマが金箔を置いて製 1月に改称)。

山形、福島、長野の各県設置。県内だけでなく、 たことで、自社でネオン 管の曲げ加工から製作を 管製作工場を33年10月に た。これにより、ネオン 請け負える体制が整っ

戦後以降

人と社会のためになる事業

新潟市に六軒小路サイン寄贈

い、それを岩松が彫り、 とともに、加藤家の家紋とともに、加藤家の家紋とともに、加藤家の家紋は 1951年の商法 製作会社のスタッフを新 ゴを制作、今日まで使用(蛇の目紋)を使った口 潟まで招き、講習を受け している(現社名は83年 ネオン製作は、東京の

専 務

務 いま、販売形態は一注目する分野

GototheNe xtStage』のキャッチフレーズは、次の 100年はもう一段ステップアップし、"お手伝ップアップし、"お手伝い。ではなく、自らが"主体的に、社会に貢献する企業になりたいという想いを込めたもの。

につながっている。

を起こさないことが、継とは、安全が第一。事故 果だと思う。 がる。 を毎年6月に開催。 力会社を集めた安全大会 社長社員や、当社の協 という言葉もあるが、そがる。一継続は力なり。 れが1世紀続いてきた結 続して仕事の受注につな -安全な製作・施工 社員の人材教育 を迎えるが、これまでにり、今年4月で100年 ん、安全への

意識向上に

性の高い施工はもちろ 努めている。これによ 育ビデオを放映し、信頼

は講習会のほか、安全教 ている。これが、無事故する具体的な指導を頂い は、社長や専務から、社営業部長 毎日の朝礼で のが誇り。 サイン製作工事中で大き 員に向けて安全施工に関 理解 しき リッチートで、従来の路面型店舗がで、従来の路面型店舗がっていくには、通販と同っていくには、通販と同っていくには、通販と同っていくには、通販と同っていくには、通販が多くなったこと プリンターといった新していきたい。また、3D ていきたい。また、3D い。そういった意味でも ー、ドラッグスト

は、まず良い教育を行うい。良い人材を作ることは人によるところが大き

営業部長取付け、

意献する。という題目を 意献する。という題目を 掲げたが、その第一歩と して新潟市に道標サイン。を寄 『六軒小路サイン』を寄

また、"主体的に社会に

創業100年を迎えた。同社は加藤社長の祖父・加藤岩松氏が1914年に創業。その後、父・ - 。 新潟のカトウ・サイン工業㈱(加藤紘一社長)が今年4月 社長、貴之専務に聞 製作 でパナソニック(株) の指のパナソニック(株) であため、55年はを拡大するため、55年

加藤紘

㈱ブリヂストンの指定看定広告代理店、73年には 板施工店となり、両社の 作会社として全国では珍 年には地元銀行のCIエ ン工事。当時、サイン製新潟県庁の行政庁舎サイ 請けとして受注した。89 社長 85年に手がけた、 多数製作している。 しいJVという立場で元 印象に残る仕事 サイン製 にオファーがあり、最終潟市内のサイン製作会社 的に当社が手掛けた。 きな要因。このため、新 市を結んでいたことが大 新潟市とロシアが姉妹都

コ関連のネオンサインをの広告塔のほか、パチンー、自動車メーカーなど 従来からの酒造メーカ多数手がけた。加えて、 屋上広告塔、看板関連を ク空港ターミナルビルの年、ロシアのハバロフス 類を施工している。 期便が出ていたことと、 サイン工事を受注した。 事の元請けに選ばれ、 これは、新潟空港から定 内にある全店舗のサイン さらに、 海外では93 県

たな100年を目指し、年を礎に、これからの新 業を展開したい。また、人と社会のためになる事

現本社は65年2月に完成。増築により、これまでの設備に対応してきたが、来年で築50年。今後、更なる新しい設備導後、更なる新しい設備導入を考慮すると、社屋移入を考慮すると、社局ので10年、20年と設置され続ける。その間、顧客に役立つ、たわらず検討している。その間、顧客に役立つ、たわらず検討している。これを・提供していく。これにより、顧客と濃密なつながりを増やせる機会ので10年といる。これにより、顧客と濃密なつながりを増やせる機会ので10~20年と設置され続ける。 に招待状を発送、当日は定だ。 100周年記念ロゴマークは、当社のデザイナーが昨年夏に制作、対外ーが昨年夏に制作、対外

るので、関心を持ってい技術が多数生まれて 営業部長

は地域一番店。県内外を
村、広告代理店から業務
社、広告代理店から業務
を依頼される際、最初に
連絡を貰うのが当社であ
るスタンスを求めたい。

に招待状を発送、当日は協力会社、得意先を中心地元の関係者や、当社の 専務 記念式典・祝賀会 中区の行形亭(いきなり 中区の行形亭(いきなり

ててい すの

業所の開設も視野に入れ 受する。また、営業部門 長する。また、営業部門 ている。

事業について 創業100周年関連

広告枠